

「ノートはパソコンでとりなさい」「常にインターネットにつながっているように」

私が経営者として関わってきた会社や塾長を務める研修でこう話してきた。紙

Smart Times

のノートは自分だけのものになってしまふ。加工や編集も手間だ。ワードやエクセルなどでとったメモはすぐに加工できる。他者との共有も簡単だ。さらにネットにつながってれば、分らないことや関心がある



インディゴブルー会長

柴田 励司

1985年上智大文卒。マーサー・ジャパン社長、カルチュア・コンビニエンス・クラブの最高執行責任者(COO)などを経て、2010年インディゴブルー社長、15年から会長。

しい生懸系に適合するためないと未来の資産が積みあがらない。恐ろしいのは自分の仕事資産の自減りに気づかないことだ。大企業で「スキル」「経験」「人は特に個々の仕事資産がゆつくり自減りする。副業解禁の動きを報酬補てんの点から報じる動きがあるが、これは大間違いだ。大企業であればあるほど、自社内で完結する仕事が大

ことをその場で調べることもできる。後で調べようと思っても忙しさに紛れて忘れてしまうのが関の山だ。このことは10年以上前から言ってきた。言い始めた

安住せずには外へ動け

の世界では「未経験」で「誰も知らない」世界でも仕事ができる人が育ちにくい。だから副業解禁なのだ。これは大企業の中でできる人をさらに育成のための施策だ。

ころは会議中にパソコンをいじっていると「何を遊んでいる」と怒るシニアの方があった。5年ほど前から取り立てて文句を言われなくなった。今ではよく目にする風景になった。5年後には紙のノートしかもっていないと「なぜネットにつながっていないのか」と怒られるようになるだろう。視野が広がり、新